

科 目 名：臨床実習Ⅱ

担 当 教 員：藤井 規孝、竹山 雅規、伊藤 晴江、竹中 彰治、杉田 典子、佐藤 直子、秋葉 奈美、三上 俊彦、
小山 貴寛、丸山 智、池 真樹子、倉田 行伸、久保田 悠、大島 邦子、大竹 正紀、渡邊 賢礼

開 講 番 号：200DS601

開 講 学 期：第1学期

水 準：15

単 位 数：9単位

対 象 学 部 等：歯学科6年生

【科目概要】

新潟大学医歯学総合病院において担当医の一人として診療に参加し、実地に歯科医学を学ぶ。
※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

社会の期待に応える医療人になるために、歯学教育モデル・コア・カリキュラムを参考に構築された診療参加型臨床実習を通じて歯科医師に求められる基本的知識・態度・技能を習得する。

【学習の到達目標】

各診療科にミニマムリクワイアメントを設定する。
各診療科の到達目標は別途配布するガイドブックを参照すること。

【授業形態】

医歯学総合病院歯科総合診療部にて、各診療科の主治医インストラクターの下で担当医の一人として歯科治療を行う診療参加型臨床実習と、各専門診療科において定められた形式で行う分散実習の2つの実習を行う。診療参加型臨床実習については診療ごとにポートフォリオを作成、提出してフィードバックを受ける。
それぞれの実習に関する詳細はガイドブックを参照すること。

【授業計画】

日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
4/1（水）-9/30（水）	診療参加型臨床実習および各診療科分散実習 ※ただし、4-7月の金曜午後および夏季休業期間を除く。	臨床実習オリエンテーション時の説明および別途配布するガイドブック参照すること。

【成績評価の方法と基準】

実習実績点が400点以上に達し、各科ミニマムリクワイアメントを達成したものを評価対象とし、すべての臨床系分野の課す試験および臨床能力試験（ACKPIS、A-TeST）に合格した者を合格とする。
なお、可否の判定については、「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」を一括して行い、最終的な成績は臨床系分野の課す試験（100%）で評価する。
各臨床系分野の成績評価の方法と基準については、ガイドブックを参照すること。

【使用テキスト】

新潟大学歯学部歯学科臨床実習実施委員会編「臨床実習ガイドブック」（オリエンテーションにて配布）
そのほかについてはガイドブックを参照すること。

科 目 名：臨床実習Ⅲ

担 当 教 員：藤井 規孝、竹山 雅規、伊藤 晴江、竹中 彰治、杉田 典子、佐藤 直子、秋葉 奈美、三上 俊彦、
小山 貴寛、丸山 智、池 真樹子、倉田 行伸、久保田 悠、大島 邦子、大竹 正紀、渡邊 賢礼

開 講 番 号：200DS602

開 講 学 期：第2学期

水 準：15

単 位 数：5単位

対 象 学 部 等：歯学科6年生

【科目概要】

新潟大学医歯学総合病院において担当医の一人として診療に参加し、実地に歯科医学を学ぶ。
※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

社会の期待に応える医療人になるために、歯学教育モデル・コア・カリキュラムを参考に構築された診療参加型臨床実習を通じて歯科医師に求められる基本的知識・態度・技能を習得する。

【学習の到達目標】

各診療科にミニマムリクワイアメントを設定する。
各診療科の到達目標は別途配布するガイドブックを参照すること。

【授業形態】

医歯学総合病院歯科総合診療部にて、各診療科の主治医インストラクターの下で担当医の一人として歯科治療を行う診療参加型臨床実習と、各専門診療科において定められた形式で行う分散実習の2つの実習を行う。診療参加型臨床実習については診療ごとにポートフォリオを作成、提出してフィードバックを受ける。
それぞれの実習に関する詳細はガイドブックを参照すること。

【授業計画】

日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
10/1（木）-10/30（金）	診療参加型臨床実習および引継実習	臨床実習オリエンテーション時の説明および別途配布するガイドブック
11/4（水）	A-TeST（予定）	参照すること。

【成績評価の方法と基準】

実習実績点が400点以上に達し、各科ミニマムリクワイアメントを達成したものを評価対象とし、すべての臨床系分野の課す試験および臨床能力試験（ACKPIS、A-TeST）に合格した者を合格とする。
なお、合否の判定については、「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」を一括して行い、最終的な成績は臨床系分野の課す試験（100%）で評価する。
各臨床系分野の成績評価の方法と基準については、ガイドブックを参照すること。

【使用テキスト】

新潟大学歯学部歯学科臨床実習実施委員会編「臨床実習ガイドブック」（オリエンテーションにて配布）
そのほかについてはガイドブックを参照すること。

科 目 名：特別授業 クリニカルカリオロジー・エンドドンティクス

担 当 教 員：野村 由一郎、竹中 彰治、井澤 常泰（非）、林 美加子（非）

開 講 番 号：200DS604

開 講 学 期：第1学期

水 準：15

単 位 数：—

対 象 学 部 等：歯学科6年生

【科目概要】

ミニマムインターベンション（MI）を中心とするクリニカルカリオロジーの考え方と臨床的対応、および歯内療法の先端的術式と難症例対策について、臨床実習中の6年生に講義を行う。

※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

齲蝕と歯内疾患への先端的対応を理解するために、必要な臨床的知識を統合的に修得する。

【学習の到達目標】

- ・再根管治療症例への先端的対応法を概説する。
- ・ミニマムインターベンション（MI）の概念に基づいた齲蝕への臨床的対応を概説する。
- ・MIにおける接着性修復の意義を説明する。
- ・顕微鏡を用いた歯内療法/歯内外科療法の術式を概説する。
- ・齲蝕・歯内疾患における感染コントロールの意義と術式を説明する。
- ・齲蝕の臨床疫学的解析に基づいた病因・病態やそのリスクおよびリスクマネジメントについて概説する。
- ・歯根破折のメカニズムと、その対処法について概説する。

【授業形態】

受動的教授による講義を行う。

【履修上の注意】

- ・これまで学んだ関連科目（齲蝕学、保存修復学、歯内療法学）についての知識を復習して臨むこと。
- ・準備学習の具体的内容については初回授業時に指示する。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/10（金）3限	MIの概念に沿った齲蝕への対応（野村）	「齲蝕学」「保存修復学」の講義内容の確認
2	4/10（金）4限	アドヴァンスト・エンドドンティクス1（再根管治療症例への対応）（野村）	「歯内療法学」の講義内容の確認
3	4/10（金）5限	アドヴァンスト・エンドドンティクス2（マイクロエンドドンティクス）（井澤）	「歯内療法学」の実習内容の確認 エンドドンティクス第5版 P230-235
4	4/17（金）3限	齲蝕の臨床疫学的解析（林）	「齲蝕学」「保存修復学」「生体材料学」「歯内療法学」の講義内容の確認
5	4/17（金）4限	歯根破折のメカニズムと対処法（林）	「齲蝕学」「歯内療法学」の講義内容の確認
6	4/17（金）5限	感染コントロールの概念に基づく齲蝕・歯内疾患への対応（竹中）	臨床実習の手技の意義を確認する

【成績評価の方法と基準】

レポート（100%）により「学習の到達目標」の達成度を判定する。出席も考慮する。

【参考文献】

今里 聡監修「削るう蝕削らないう蝕」クインテッセンス出版（11,000円）
 吉山 昌宏・他監修「う蝕治療のミニマルインターベンション」クインテッセンス出版（9,000円）
 井澤 常泰・他編著「Contemporary Endodontics 外科的根管治療の必要性」デンタルダイヤモンド社（9,000円）
 井澤 常泰 著「Endodontic Breakthrough 逆根管治療の真髄」クインテッセンス出版（7,200円）
 木ノ本 喜史 編著「感染根管治療（Retreatment）」ヒョーロンパブリッシャーズ、出版予定

科 目 名：特別授業 歯科法医学

担 当 教 員：高塚 尚和（医）

開 講 番 号：200DS606

開 講 学 期：第1学期

水 準：15

単 位 数：—

対 象 学 部 等：歯学科6年生

【科目概要】

歯科医師に求められる歯科所見等に基づく個人識別並びに身元確認に関連する死因究明等の制度について概説する。さらに、歯科診療において必要となる法医学の知識全般についても講義する。

※歯科医師および医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

大規模災害時等における身元確認等に資するため、歯科による個人識別の重要性を理解し、歯科による個人識別及び身元確認の方法を習得すること、並びに身元確認に関連する死因究明等の制度を理解することを第一の目標とする。その他、人の死、脳死や死の定義、死因としての損傷・窒息・中毒、診療関連死、子ども虐待等についても講義し、歯科医師として法律に則った適切な対応ができるようになることを目指す。

【学習の到達目標】

- ・ 歯科所見に基づく身元確認ができるようになる。
- ・ 死因究明制度を説明することができる。
- ・ 内因死および外因死を正確に判断することができる。
- ・ 死因を正しく診断することができ、正確な死亡診断書を作成することができる。

【授業形態】

講義形式で実施する。また講義内容の理解度を確認するため簡単な小テスト等を実施する。

【履修上の注意】

- ・ 講義内容については事前に教科書を読み、予習してから講義に臨んで下さい。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	6/28（金）3限	法医学総論（藤田）	テキストの第1章～第3章を読んでおくこと
2	6/28（金）4限	死因究明制度（藤田）	テキストの第8章②を読んでおくこと
3	7/3（金）3限	大規模災害における身元確認（葛城）	テキストの第7章④、⑤を読んでおくこと
4	7/3（金）4限	診療関連死（高塚）	テキストの題2章－⑤～⑧を読んでおくこと
5	7/10（金）3限	損傷概論（高塚）	テキストの第4章②－1を読んでおくこと
6	7/10（金）4限	窒息概論（高塚）	テキストの第4章②－2を読んでおくこと
7	7/17（金）3限	中毒概論（高塚）	テキストの第5章を読んでおくこと
8	7/17（金）4限	虐待（子ども・高齢者）（高塚）	テキストの第8章③を読んでおくこと

【成績評価の方法と基準】

各回講義終了時の小テスト（50%）およびレポート（50%）で評価する。なお、出席状況も考慮するが、出席点としての加点は行わない。

【使用テキスト】

高取健彦監修、長尾正崇、中國一郎、山内春男 編：NEWエッセンシャル法医学 第5版、医歯薬出版社、8,500円

【参考文献】

佐藤喜宣 編著：臨床法医学テキスト 第2版、中外医学社、7,000円

高津光洋 監修、池田典昭、鈴木廣一、石津日出雄 編：標準法医学 第7版、医学書院、5,940円

相馬一玄 監修、上條吉人 著：臨床中毒学、医学書院、10,500円

高津光洋 著：検視ハンドブック改訂3版、南山堂、8,500円

Saukka P, Knight B 編：Knight's Forensic Pathology、ARNOLD

Michael J et al：Brogdon's Forensic Radiology、CRC Press

科 目 名：特別授業 歯学史

担 当 教 員：西巻 明彦

開 講 番 号：200DS607

開 講 学 期：第1学期

水 準：15

単 位 数：—

対 象 学 部 等：歯学科6年生

【科目概要】

歯科医師が身に着けるべき素養として、医学および歯学が始まりから現在に至るまでどのように発展してきたかを学ぶ。
※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

医学および歯学の発達段階を知ることにより、歯科医療を歴史的な側面から捉え、また今後の歯科医療のあるべき姿について考えることができるようになる。

【学習の到達目標】

- ・ 医学史および歯学史を学ぶことの重要性を理解する。
- ・ 医学の始まりを説明する。
- ・ 歯学の発達段階を説明する。
- ・ 歯学の文化を説明する。

【授業形態】

歯学史に関する講義と演習を行う。また、医の博物館の見学実習を行う。

【履修上の注意】

- ・ 授業は日本歯科大学新潟生命歯学部附属医の博物館で行う。詳細については別途連絡するため、その指示に従うこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/3（金）3限	医学の始まり、歯学史の発達段階と法則性、歯科文化事象	医学・歯学の歴史について調べる
	4限	医の博物館見学、歴史演習	

【成績評価の方法と基準】

レポート（100%）により評価する。

【使用テキスト】

事前に資料を配布する。

科 目 名：特別授業 歯科医療管理学

担 当 教 員：大内 章嗣

開 講 番 号：200DS609

開 講 学 期：第2学期

水 準：15

単 位 数：—

対 象 学 部 等：歯学科6年生

【科目概要】

歯科医師会の目的・活動概要および歯科医療機関の開設・管理に必要な知識について、歯科医師会で指導的役割を果たしている実務担当者から学習する。

※歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

歯科医師として歯科医療機関を開設・運営していくために必要となる医療安全管理、労務管理等に関する基本的知識を習得するとともに、歯科医師会が地域保健医療の確保のために果たしている役割等を理解する。

【学習の到達目標】

- ・ 歯科医療機関の開設・管理に必要な手続きや管理内容について概説できる。
- ・ 歯科医師会の目的・概要および役割について説明できる。

【授業形態】

講義により行う。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	10/27（火）3-4限	歯科医師会と歯科医療管理の実際について（神成、大内）	新潟県歯科医師会HPで会の活動内容等について調べておくこと。

【成績評価の方法と基準】

授業時間中に実施する小テスト（100％）により評価する。

科 目 名：特別授業 歯科臨床推論			
担 当 教 員：秋葉 陽介、魚島 勝美、秋葉 奈美、長澤 麻沙子、江口 香里			
開 講 番 号：200DS610		開 講 学 期：第1学期	
		水 準：15	
単 位 数：一		対 象 学 部 等：歯学科6年生	

【科目概要】

適切な歯科医療を提供するためには、診療技能、態度および知識の習得と共に、適切な診療計画の立案が必要不可欠である。診療計画立案の前提は的確な検査診断と、これに基づく治療手順の決定である。この一連の意思決定プロセスは臨床推論と呼ばれる。歯科医師が患者の治療を開始する前に行うべき具体的作業としては、問題点の抽出、必要な検査の実施診断、治療方針決定、治療計画立案が挙げられる。本演習は実際の臨床症例を用いて治療方針決定および治療計画立案をグループ討議によって行い、臨床推論能力の涵養を目指すものである。

※歯科医師として実務臨床経験のある教員がその経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う

【科目のねらい】

一口腔単位での治療計画立案を系統的行う演習と、そのプロセスと結果に関する自己評価を通して、歯科臨床に必須の歯科臨床推論能力を身につける。

【学習の到達目標】

- ・ 診断に必要な検査方法を列挙する。
- ・ 診断に必要な検査方法を選択する
- ・ 検査結果に基づいて診断する
- ・ 診断の結果に基づいて問題点を列挙する
- ・ 個々の問題点に対する適切な治療方法を選択する
- ・ 治療方針を決定する
- ・ 治療計画を立案する
- ・ 治療方針と計画をわかりやすく説明する
- ・ 適切にグループ討議を行う
- ・ 歯科専門用語を適切に使用する
- ・ 立案した治療方針・計画を客観的に分析・評価する

【授業形態】

事前学習によって個人的に立案した治療方針と計画を基に、討議を通してグループとしての方針と計画を完成させる。さらに、発表および質疑応答を通してより良いと思われる方針と計画を完成させる。その後、自身で立案した治療方針・計画とグループで立案したそれを、配布するルーブリックによって評価し、レポートを作成する。

【履修上の注意】

- ・ 事前に配布する患者データに基づき、演習に先立って個人で治療方針と計画を立案した上で、指定したPowerPointのファイルを完成させておく必要がある。
- ・ 一連の演習への消極的な関わりは学習効果を著しく下げるので、学習者として積極的に参加すること。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	準備学習（予習範囲）
1	4/24（金）3-4限	オリエンテーション 演習の進め方解説、ソフトウェア使用法解説 実習の進め方、自己評価、チェックリスト使用法（秋葉）	
2	5/8（金）3-4限	症例1グループ討議（秋葉）	症例1の所見、診断、治療方針、治療計画立案
3	5/15（金）3限 4限	症例1発表、討議、解説 症例1レポート作成、自己評価シート、チェックリスト記入（秋葉）	症例1のグループプロダクト完成
4	5/22（金）3-4限	症例2グループ討議（秋葉）	症例2の所見、診断、治療方針、治療計画立案
5	5/29（金）3限 4限	症例2発表、討議、解説 症例2レポート作成、自己評価シート、チェックリスト記入（秋葉）	症例2のグループプロダクト完成
6	6/4（金）3-4限	症例3 グループ討議（秋葉）	症例3の所見、診断、治療方針、治療計画立案
7	6/11（金）3限 4限	症例3発表、討議、解説 症例3レポート作成、自己評価シート、チェックリスト記入（秋葉）	症例3のグループプロダクト完

8	6/19（金）3限 4限	症例4治療方針、治療計画立案（個人提出用） 症例4レポート提出、解説、アンケート	症例4の所見、診断、治療方針、治療計画立案
---	-----------------	---	-----------------------

【成績評価の方法と基準】

治療計画立案レポート（60%）
自己評価結果に対する担当教員による評価（20%）
相互評価チェックリスト（10%）
演習への参加態度・出席態度（10%）
以上を総合的に評価する。

【使用テキスト】

指定しない

【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する